

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ソレイユの森アクティブ 児童発達支援		
○保護者評価実施期間	令和7年11月20日	～	令和7年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41	(回答者数) 39
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日	～	令和7年12月29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月6日	○公表日	令和8年3月10日

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・施設の広さを活かし、運動をメインとした様々な支援プログラムを行っている。	・その日通所してくる子ども達に合わせて、固定化されないようチームで支援プログラムを検討している。	・それぞれの特性や運動の発達段階等を職員間で共有することで、共通認識を持ち、より良い支援、療育を目指していく。
2	・保護者と子どもの状況を写真や個別対応で共有し、共通理解を深めるよう努めている。	・通所時の様子や活動内容を伝達すると共に、保護者の困りごとや気になることを定期的に伺い、ニーズに合わせた個別支援計画の作成を心がけている。	・直接会ってお話する機会が少ない保護者もいる為、お電話など他の方法で聞き取れる時間をとっていく。
3	・季節の行事やイベントを企画し、開催している。	・夏まつり、ハロウィン、クリスマス等イベント週間を開催したり、祝日は公共施設のお出かけや、系列施設を使用することもあり、子ども達の楽しみの一つになっている。	・季節の行事に合わせた内容を普段の療育に積極的に取り入れていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者同士の交流の場や研修の機会が少ない。	・個別に療育の見学や保護者の相談の場をつくってご家族の支援を行っているが、今までニーズが少なかったこともあり、保護者同士の集まりは設けていなかった。	・交流の場やペアレントトレーニングが今後あれば参加したいとの声も聞かれたため、今後検討していく。
2	・療育の軸となる運動の経験は職員によって違いがあるため、職員の資質向上図っていく。	・職員の研修の機会を設けているが、実践の研修などは業務が重なるため全職員の参加が難しいこともある。	・職員の資質を図るために、法人内での研修や実践練習の機会を充実していく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ソレイユの森アクティブ 児童発達支援

公表日 令和8年3月10日

利用児童数

41

回収数

39

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	39				・運動スペースが十分にあり、走ったり跳んだりできる。 ・とても広い。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	37	1		2	・手厚く支援していただき安心できる。	・広い場所での運動をメインとしておりますので、職員は多めに配置をしております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	28	2		9	・広いが矢印で進む進路が表示されており、わかりやすい。	・活動しやすさ、設備の見直しを今後も定期的に行い配慮してまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	38			1		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	36	1		2		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	39					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	38	1				
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	34	1		3	・親が困っていることを支援計画に取り入れてもらえていると思う。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	38			1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	35	1		4		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	38	2	2	18	・祝日におでかけの機会もあり楽しんでいる。	・幼稚園単位での交流についてはおこなっておりませんが、イベントやお出かけ等で地域での活動についてより良いものになるよう心がけていきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	38	1				
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	36		2			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	6	5	11	・参加したことがないのでわからない。 ・ペアトレがあれば参加したい。	・個別に療育の見学や相談のご要望は積極的にお受けしていますが、研修会等で集まる機会はニーズに合わせて今後検討していきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	38	1			・必要時、電話や送迎で直接お話しする機会がある。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	33	4	1	1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	38			1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	2	10	15	・参加したことがないのでわからない。	・保護者同士やきょうだいの交流の場についてはニーズに合わせて検討していきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	32	4	2	2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	37	2		1	・毎回写真で様子を報告いただき、自宅へ送っていただく際は口頭報告もある。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	38		1		・毎回写真で様子が見られるのがとても良い。 ・毎月のおたよりも嬉しい。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	33	1	2	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	32	1		5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	32	1		6		・年に2回の定期的な訓練を行っておりLINEやおたよりの報告をさせていただいておりますが、周知について今後も徹底してまいります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	32	2		4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	34	1		3	・今までないのでわからない。	・今後も子どもたちが安全に活動できるような環境を整えていくと共に、事故発生時の対応についてもマニュアル等の周知をし、迅速な対応ができるよう体制を整えてまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	37	1			・先生達が優しいと本人から聞く。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	39				・毎回とても楽しみにしている。 ・いつも楽しみにしている。 ・前日から自ら通所準備をする等とても楽しみにしている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	38	1			・満足している。もっと早く通わせられた。 ・大満足です。 ・体幹の弱さの改善や運動への苦手意識の改善だけでなく自発的に次の日の準備などが出来るようになった。	・今後も子どもたちが楽しく通所し、保護者様に安心、ご満足いただける支援に努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ソレイユの森アクティブ 児童発達支援				公表日	令和8年3月10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・広さを利用し、のびのびと子どもたちが活動できるようなサーキットを組んでいる。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・広い場所での運動療育という特色に合わせて人員の配置はなるべく多くしている。	・日によっては利用者の特性に合わせて、安心できるよう配置数を考慮していきたい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・子どもにわかりやすいよう絵カードや記号での表示で配慮している。	・建物の構造上バリアフリーが難しい面がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・療育前の掃除を行い、定期的に細かな部分も確認している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・一日の振り返りをして、共有点についてはノートに書き、その日不在の職員にも周知している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・会議や個別面談の内容を周知、話し合いの場を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・運営指導時の評価を踏まえ、業務改善に努めている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・保護者のニーズをもとに、作成、説明をしている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・立案担当は日によって決めており、事前にチームで方向性を共有、確認も行っている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・事前の打ち合わせはできており、配慮することなどを確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・振り返りの内容は共有ノートに記入することで周知している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			・コロナ以降、対面での担当者会議自体が減っている。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・ニーズに合わせて行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・ニーズに合わせて行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・ニーズに合わせて行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		・祝日のイベントやお出かけなどで地域の方や公共の場で一緒に活動する機会がある。	・園単位での交流は活動時間など調整の難しさや、ご家庭のニーズがない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・個別の見学、相談の機会を設けている。	・研修など集まる機会はなかったので、今後検討していく。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・送迎時や電話でご家庭の困りごとなど聞き取り、助言を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		・コロナ後控えてきたため、今後検討していく。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月おたよりを配布して活動の様子を伝えている。 ・イベントがある時は、LINEで詳細を発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・どのような交流ができるか模索中である。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・マニュアル化できているものは見直し、周知を行っている。	・マニュアルとして周知できていないものもあるため今後策定が必要である。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・年に2回の避難訓練を実施し、訓練内容を保護者にも報告している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・契約時に持病、服薬などの状況は必ず確認している。	・予防接種の有無までは確認していない。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・事案については記録に残し、研修で再発防止に努めている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○				